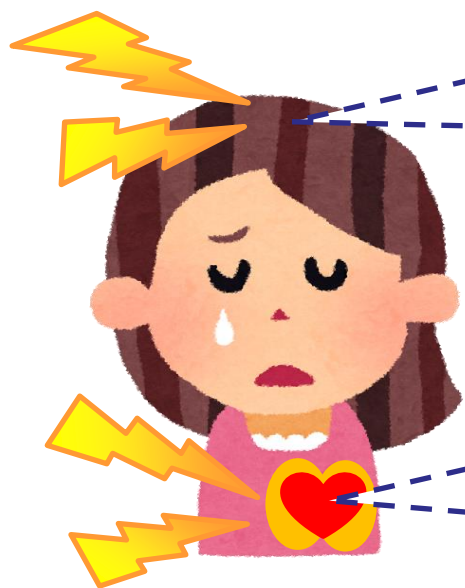


予防のための検査

脳梗塞・心筋梗塞のリスク検査 LOX-index



脳梗塞

寝たきりの原因！

「3人に1人」が死亡か後遺症に



心筋梗塞

突然死の危険！

「約15万人」が発症

脳梗塞・心筋梗塞はリスクを知ること、
予防することが出来ます

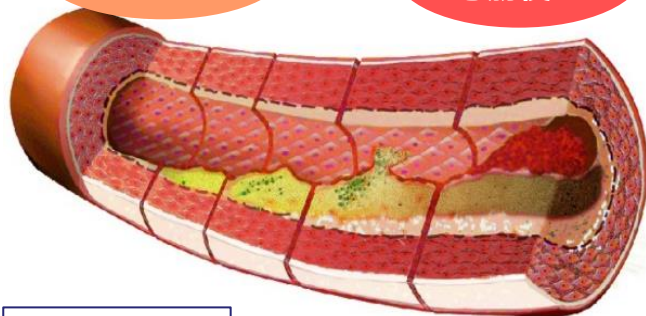
LOX-index(ロックスインデックス)とは

脳梗塞・心筋梗塞の発症リスクを知る

ことを目的とした検査です。これらの疾患の原因となる動脈硬化に深く関連する物質を測定することで、将来的な危険度を知ることが出来ます。

動脈硬化

脳梗塞
心筋梗塞



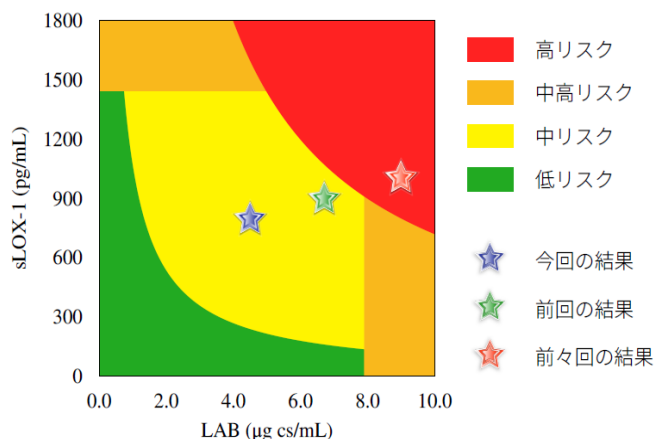
報告書例

検査について

- ・ 検査料金：12,960円(税込)
- ・ 少量の採血で検査
- ・ 当日でも申込可能



脳梗塞・心筋梗塞発症リスクは **中** です。



LOX-index -脳梗塞・心筋梗塞発症リスク検査- よくあるご質問(FAQ)

① LOX-indexとは？

動脈硬化に関連する酸化変性LDLとLOX-1という2つの物質を調べることで、動脈硬化の進行具合から将来の脳梗塞・心筋梗塞のリスクを判定する血液検査です。動脈硬化は生活習慣を改善することで予防ができる疾患であり、早めにリスクを知り予防すること、生活習慣を改善をすることが大切です。

② LAB(酸化変性LDL)とは？

ストレスやタバコなどの影響で発生した体内の活性酸素などによって酸化し、さびついたLDL(悪玉コレステロール)です。研究ではこれまで動脈硬化の原因と言われてきたLDLは動脈硬化の本当の原因ではなく、LABが動脈硬化を引き起こしている主要な原因物質であると考えられています。

③ LOX-1、sLOX-1とは？

LOX-1とは血管内にあるタンパクの1種で、酸化変性LDLの受け皿です。LOX-1と酸化変性LDLは結合することで動脈硬化を進行してしまうことがわかっております。その内の一部が血管の壁から切り離され、血液中に出てきたものをsLOX-1と呼んでいます。

④ どのくらいの頻度で受診すべきか？

通常の健康診断・人間ドックと同じく、年1回の検査をお勧めしております。

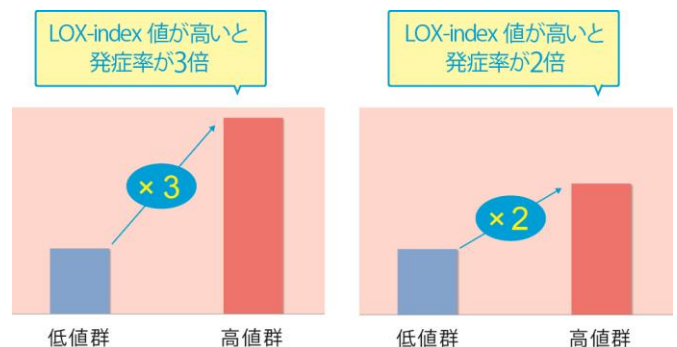
ロックスインデックス値が高い方は

動脈硬化が進行すると、脳梗塞・心筋梗塞が将来的に発症するリスクが高まります。酸化変性LDL、LOX-1の増加を促してしまう要因として、生活習慣(喫煙、過食、過度の飲酒等)、ストレス、運動不足等があります。

ロックスインデックス値が高い方は、今からでも予防対策を始めましょう。

＜脳梗塞発症率との関係＞

＜心筋梗塞発症率との関係＞



引用: Clinical Chemistry 2010; v.56, p.550-558.

※ 当検査は、研究検査項目になるため診断目的で使用頂くことは出来ません。

※ 妊娠中、出産後、風邪をひかれている場合は、検査数値が高く出る可能性がございます。

※ コレステロールを下げるお薬を服用されている方は、検査数値が低く出る可能性がございます。

※ 食事制限などは無く、午後にご受診頂くことも可能でございます。

お問い合わせ

JA神奈川県厚生農業協同組合連合会 保健福祉センター

JA健康管理センターあつぎ TEL:046-229-7115

JA健康管理センターさがみはら TEL:046-772-3296